

# 疼痛日記を使用したテレフォントラッキングにより疼痛管理に寄与した一例

株式会社クリエイティブ・ディー クリエイト薬局旭二俣川店  
○松本光司, 川上ありす



## 背景

保険薬局薬剤師によるテレフォントラッキング(以下、TF)での患者サポートは標準化しつつあるが、経過を振り返る際に患者から曖昧な返答があることも少なくない。TF時と受診時で患者の訴えが異なる場合、医療者の評価にばらつきが出る可能性も考えられる。正確かつ必要な情報を得るために、患者に疼痛日記などのツールを使用してもらうことは一つの手段と考える。今回、疼痛日記を使用した患者のTFを行い、疼痛管理を図った症例を報告する。

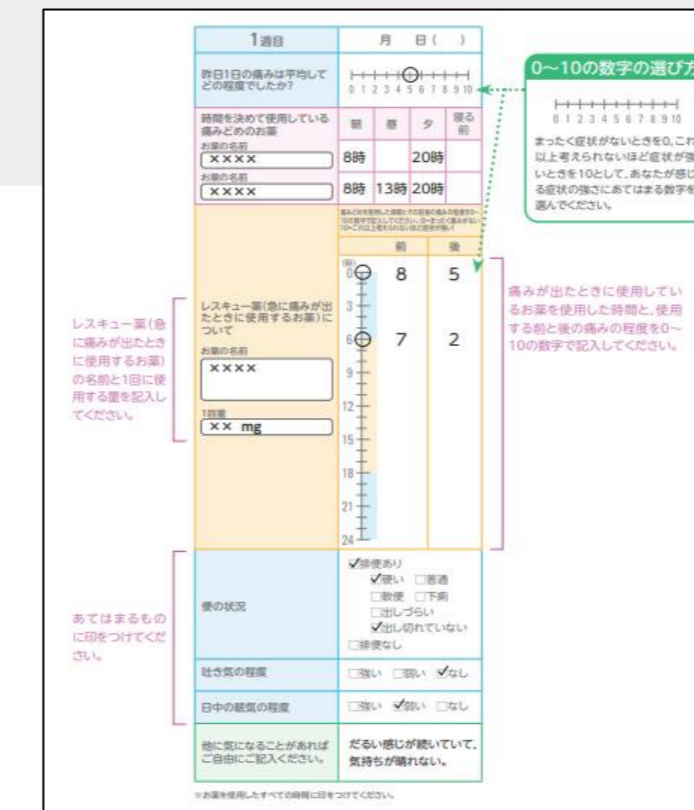
## 患者情報

60歳 女性  
手術不能乳がん 骨転移  
ハラヴェン療法施行中  
HOT導入  
既往歴なし  
アレルギー歴なし

ロキソニン錠60mg 3T3×毎食後  
タケプロンOD錠15mg 1T1×就寝前  
ラクビー微粒N 2g2×朝夕食後  
リンデロン錠0.5mg 4T2×朝昼食後  
デノタスチュアブル配合錠 2T1×朝食後  
メチコバル錠500μg 3T3×毎食後  
マグミット錠330mg 6T3×毎食後

## 経過

- ◆ がん性疼痛に対し、フェントステープ1mg、オキノーム散2.5mgが開始。
- ◆ day1オピオイド導入指導とともに製薬会社作成の疼痛日記をお渡し。
- ◆ 記載した疼痛状況や副作用発現状況をTFの際に確認すること、医療機関を受診する際には日記を提示することをお伝え。
- ◆ TFの際には、記載した日記帳を参照したうえで体調変化についての返答を得た。



### 【記載項目】

- ・1日を通してのNRS
- ・レスキュー薬を使用した時間
- ・レスキュー薬使用前後のNRS
- ・副作用(便秘、悪心、傾眠)の有無
- ・気になったこと

### day6 TF実施

疼痛: 背部～脇腹(ピリッとした神経痛あり)  
NRS: 5~6、突出痛時7、オキノーム散使用後5~6  
1~2日目オキノーム散4回/日使用 3日目～オキノーム散2回/日使用  
増悪因子: 臥位  
→眠れないため、座ってうとうとしている状態  
悪心: なし  
便秘: オピオイド導入前から変化なし(連日排便少量、残便感あり)

### 提案内容

疼痛により臥位での睡眠困難  
⇒ **ベースの増量検討**  
レスキューの効果実感も薄い  
⇒ **レスキューの増量検討**

### day7

フェントステープ1mg 1日1枚  
**フェントステープ0.5mg 1日1枚**  
オキノーム散2.5mg 疼痛時1包

### day13 TF実施

疼痛: 背部～脇腹(ピリッとした神経痛あり)  
NRS: 2~3、突出痛時8~9、オキノーム散使用後2~3(2~3回/日使用)  
増悪因子: 不明(きっかけなし)、緩和因子: レスキュー使用  
臥位での睡眠は可能(睡眠中の突出痛の発現はあり)  
悪心、傾眠: なし  
便秘: 変化ないが、腹部膨満感が持続、それに伴う食欲低下あり

### 提案内容

NRS改善あるも夜間睡眠の妨げは持続  
⇒ **ベースの増量検討**  
便秘による腹部膨満感の可能性  
⇒ **スインプロイク錠追加検討**

### day15

**フェントステープ2mg 1日1枚**  
**オキノーム散5mg 疼痛時1包**  
オキノーム散2.5mg 疼痛時1包  
(5mgで不十分であれば7.5mgへの増量指示)  
**リリカOD錠75mg 2T2×朝夕食後**  
**スインプロイク錠0.2mg1T1×朝食後**

### day20 TF実施

疼痛: 背部～脇腹(ピリッとした神経痛が以前より気になる)  
NRS: 2~3、突出痛時7~8、オキノーム散使用後2~3(2~3回/日使用)  
\*オキノーム散7.5mg使用中  
増悪因子: 不明(きっかけなし)、緩和因子: レスキュー使用  
悪心: 食事摂取過量の際に発現あり  
傾眠: 疼痛緩和による発現はあるものの日常生活への影響はなし  
便秘: スインプロイク錠開始前と比較し改善傾向

### 提案内容

オキノーム散5mgでは効果不十分  
⇒ **オキノーム散7.5mgでの処方継続依頼**  
神経痛増強の訴えあり  
⇒ (腎機能に問題がなければ) **リリカの増量検討**

### day22

フェントステープ2mg 1日1枚  
**フェントステープ1mg 1日1枚**  
**オキノーム散5mg 疼痛時1包**  
**オキノーム散2.5mg 疼痛時1包**  
**リリカOD錠75mg 3T3×朝夕食後**  
スインプロイク錠0.2mg1T1×朝食後

### day27 TF実施

疼痛: 背部～脇腹(ピリッとした神経痛あり)  
NRS: 2~3、突出痛時7~8、オキノーム散使用後2~3(4~5回/日使用)  
増悪因子: 臥位、緩和因子: レスキュー使用  
悪心: 食事摂取過量の際に発現あり  
傾眠: 座っているとウトウトする程度の増強あり、不快感はなく疼痛を感じるよりかはよい  
下肢の浮腫の影響?で転倒し打撲  
便秘: コントロール良好

### 提案内容

臥位での疼痛増強、オキノーム散使用回数増加  
一方で傾眠傾向あり、下肢の浮腫もあり転倒  
⇒ **フェントスの増量検討**  
⇒ **リリカ→タリジェへの変更検討**  
(傾眠の状況に応じて)

### day29

**フェントステープ4mg 1日1枚**  
オキノーム散5mg 疼痛時1包  
オキノーム散2.5mg 疼痛時1包  
**リリカOD錠75mg 2T2×朝夕食後**  
スインプロイク錠0.2mg1T1×朝食後

### day33 TF実施

疼痛: 背部～脇腹(ピリッとした神経痛あり、しびれはなし)  
NRS: 2~3、突出痛時7~8、オキノーム散使用後2~3(3~4回/日使用)  
増悪因子: 臥位、緩和因子: レスキュー使用  
悪心: 改善傾向にあり(Grade1)  
傾眠: 変化なし、不快感はなく疼痛を感じるよりかはよい  
便秘: コントロール良好

### 提案内容

オキノーム使用回数やや減少も臥位での疼痛継続  
⇒ **フェントスの増量検討**

緩和ケア病棟に入院となり、介入終了

## 考察・今後の展望

- ✓ トレーシングレポートによる処方提案がおおむね次回受診時に反映されていた。  
⇒ 日記を使用することで、患者の記憶、訴えの曖昧さが解消され、TF時と診察時の医療者間での疼痛評価に大きな相違がなくなった結果と考えられる。また、短時間での振り返りが可能となり、患者自身も気になったことに対する訴えをまとめることが可能となった。
- ✓ 痛みや治療効果の判定は患者の主観的な訴えとなるため、強さや性質などを伝える方法を具体的に示し、医療者に積極的に伝えるよう患者教育を進めていく必要があると言える。
- ✓ 日記を通して、患者自身が鎮痛効果を経時的に実感できることは、アドヒアランスの向上にもつながると考えられる。
- 疼痛日記の活用を今後も行い、患者のQOL向上や適切な薬物治療の実現に貢献できるよう努めていきたい。

利益相反開示事項  
所属: クリエイト薬局 旭二俣川店  
筆頭発表者: 松本光司  
私は本演題発表に関連して、開示すべき利益相反はありません。